

第1回 地域密着型サービス 運営推進会議 報告書

事業所名：小規模ホーム あんきな

サービス種類： ☐ グループホーム ・ ☒ 小規模多機能型居宅介護

□地域密着型介護老人福祉施設入居者生活介護

□地域密着型通所介護 ・ □認知症対応型通所介護

日 時：令和8年5月20日（水） 9：30～10：30

場 所：会議室

出席者：11名

駐在所巡査長	欠席	知見を有する者	
利用者家族	2 人	大田市職員	1 人
地域住民の代表	2 人	民生委員	1 人
事業所職員（職名：管理者、GH 主任、GH リーダー、 小規模主任、小規模リーダー）			5 人

報告事項

1. 登録実績と利用状況 (R8.4 月現在)

現在登録者数	3 月	4 月	新規 登録者数	3 月	4 月
男性	4 名	5 名		1 名	1 名
女性	15 名	13 名	登録 終了者数	3 月	4 月
計	19 名	18 名		2 名	0 名

令和 8 年度 サービス利用状況：定員 25 名（令和 8 年 4 月現在）

[illegible]

地域別利用状況（令和８年４月現在）

波根	久手	大田	鳥井	静間	五十猛
３人	８人	４人	１人	１人	１人

利用者の世帯状況

独居	配偶者（高齢）のみ	子等と同居
８人	４人	６人

２．令和８年度事業計画

今年度の事業計画について主任より内容を説明した。

（中浜自治会長より）

Q：職員の中で自分たちの強みはどのような意見が出たのか。

A：柔軟なサービス（困り事や急な依頼があった際に予定以外の訪問や通いのサービスを提供する等臨機応変に対応、夕食後食べてから自宅へ送る対応）が出来ることが意見としては出た。職員配置により対応できる人数に限りがある事など課題はある。

Q：チラシや事業の内容について（意見）

- ・見る人を引き付けるような見出しを大きくつけてから詳細が分かるようにしてはどうか。
- ・あんきなを利用させてもらっていた時にはケアマネからサービスを紹介されたが、どんなサービスか分からなかった。いざ利用すると急な泊りや訪問に対応してもらい当時は大変助かった。チラシで周知してもらおう事は良いと思う。
- ・面会も制限がなく、臨機応変に泊りや帰る時間を対応してもらえて大変助かっている。

A：今後も意見を頂きながら取り組みを行っていく。チラシについては修正をする。

活動状況報告

①朝波小学校児童下校時の見守り活動今年度も継続

②外部評価関連報告

A 事業所評価関連

【地域包括ケアを担う活動】

目標：行政やサービス機関との会議、波根地域の活動・イベント等に参加する機会を増やす
→5/17（日）波根駅周辺の草刈り参加した事について報告した。

B 事業所のしつらえ・環境

７月の運営推進会議にて評価をしていただく予定。

C 事業所と地域のかかわり

目標：地域の行事や活動を通じて事業所との関係を深める。その中で相談事やニーズ等を把握する。

D 地域に出向いて本人の暮らを支える取り組み

目標：利用者の個々の馴染みの地域や場所について一覧化し、計画的に地域へ外出する支援を行う。

→習慣であった港への散歩やまちセンでの活動参加を支援している状況をスライドや写真で説明した。

F 災害協力

→年間計画に沿って避難訓練（7月、11月）、予定を報告。

（中浜自治会）

Q：実際にどの程度の受け入れや対応が可能であるか

A：非常用発電を設置している為、地域の方に対して2階フロアを避難場所として提供可能（20名程度）であることを前年度から伝えている。自治会の避難場所や自主防災組織の決まり事もあると思うが、地域の方の要望や相談なども踏まえて今後の災害協力を繋げたい旨を伝えた。

3. その他

- ・新役員の紹介（小規模主任、家族代表、大津・中浜自治会長、大田市介護保険課）
- ・運営推進会議の目的、当該会議での流れの説明

4. ご意見、感想

- ・外部評価については年度末に一辺に評価して下さいとなると、どうだったっけと振り返りながらすることになるので、会議の議題で上げてもらいながらえるとやすい。
- ・運営会議に出ることでどういったことをしているのかが分かる。

次回開催日：令和8年7月22日（水）9：30～10：30

第 2 回 地域密着型サービス 運営推進会議 報告書

事業所名：小規模ホーム あんきな

サービス種類：☐グループホーム ・ ☒小規模多機能型居宅介護

☐地域密着型介護老人福祉施設入居者生活介護

☐地域密着型通所介護 ・ ☐認知症対応型通所介護

日 時：令和 8 年 7 月 22 日（水） 9：30～10：30

場 所：会議室

出席者：11 名

駐在所巡査長	1 人	知見を有する者	欠席
利用者家族	1 人	大田市職員	2 人
地域住民の代表	3 人	民生委員	1 人
事業所職員（職名：管理者、GH 主任、小規模主任）			3 人

1. 報告事項

登録実績と利用状況（R8.6 月現在）

現在登録者数	5 月	6 月	新規	5 月	6 月
男性	4 名	4 名	登録者数	1 名	3 名
女性	14 名	15 名	登録	5 月	6 月
計	18 名	19 名	終了者数	3 名	1 名

令和 8 年度 サービス利用状況：定員 25 名（令和 8 年 6 月現在）

	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	合計
実人数	18	18	19										
延人数	472	510	513										
実稼働率	62.9%	65.8	68.4										
通い/人	243	261	269										
泊り/人	81	112	131										
訪問/回	258	256	254										
支援 1	0	0	0										
支援 2	2	2	2										
介護 1	6	5	4										
介護 2	6	6	7										
介護 3	3	3	3										
介護 4	1	2	3										
介護 5	0	0	0										

地域別利用状況（令和 8 年 6 月現在）

波根	久手	大田	仁摩	静間	五十猛
3 人	9 人	4 人	1 人	1 人	1 人

利用者の世帯状況

独 居	配偶者（高齢）のみ	子等と同居
9 人	3 人	7 人

1. 活動状況報告

①朝波小学校児童下校時の見守り活動今年度も継続

②外部評価関連報告

A 事業所評価関連

【地域包括ケアを担う活動】

目標：行政やサービス機関との会議、波根地域の活動・イベント等に参加する機会を増やす
→6/28（日）波根駅周辺の草刈り参加した事について報告した。

B 事業所のしつらえ・環境

あんきな事業所の見学にまわり環境説明をする（ホール、泊り部屋、テラスや庭）。

Q：あんきな職員数は充足しているか。また、基準値以上に配置していたら補助金等はあるのか。

A：当日の職員数としては通い3名に対して1人、訪問2人と基準の最低配置は出来ているが、急な訪問や、子育て世帯も多く急な退勤や欠勤により支援が行き届かないという意味での職員不足はある。基準値以上に配置すると補助金が出るということは無いが、国が求める取り組みを事業所が行うと加算という形で報酬を受けられる。

Q：庭作りや作業において利用者の方も世話や手伝いされることがあるのか、職員の負担が大きくないか。

A：魚の餌やりや作物の収穫などをお手伝いしてもらっている。水やりや草刈り等を職員が主に行っており、空いた時間で楽しく行えている。

D 地域に出向いて本人の暮らを支える取り組み

目標：利用者の個々の馴染みの地域や場所について一覧化し計画的に地域へ外出する支援を行う。

→習慣であった港への散歩やまちセンでの活動参加を支援している状況をスライドや写真で説明した。

F 災害協力

→7月15日に夜間想定避難訓練実施した事をスライドと写真を活用して様子を分かるように報告した。けが人（転倒骨折の疑い）の搬送なども寝具を活用して行っていることも伝えた。 次回は11月に日中想定避難訓練を予定。

3. その他

特になし

第3回 地域密着型サービス 運営推進会議 報告書

事業所名：小規模ホーム あんきな

サービス種類：☐グループホーム ・ ☒小規模多機能型居宅介護

☐地域密着型介護老人福祉施設入居者生活介護

☐地域密着型通所介護 ・ ☐認知症対応型通所介護

日 時：令和8年9月16日（水） 9：30～10：30

場 所：会議室

出席者：9名

駐在所巡査長	欠席	知見を有する者	1人
利用者家族	1人	大田市職員	1人
地域住民の代表	2人	民生委員	1人
事業所職員（職名：管理者、GH主任、小規模主任）			3人

1. 報告事項

登録実績と利用状況（R8.8月現在）

現在登録者数	7月	8月	新規	7月	8月
男性	3名	3名	登録者数	0名	0名
女性	15名	14名	登録	7月	8月
計	18名	17名	終了者数	1名	1名

令和8年度 サービス利用状況：定員25名（令和8年8月現在）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
実人数	18	18	19	18	17								
延人数	472	510	513	528	517								
実稼働率	62.9%	65.8	68.4	68.1	66.7								
通い/人	243	261	269	288	275								
泊り/人	81	112	131	128	128								
訪問/回	258	256	254	349	382								
支援1	0	0	0	0	0								
支援2	2	2	2	2	1								
介護1	6	5	4	4	6								
介護2	6	6	7	7	6								
介護3	3	3	3	2	2								
介護4	1	2	3	2	2								
介護5	0	0	0	0	0								

地域別利用状況（令和8年8月現在）

波根	久手	大田	仁摩	静間	五十猛
3人	8人	3人	1人	1人	1人

利用者の世帯状況

独 居	配偶者（高齢）のみ	子等と同居
8 人	3 人	6 人

2. 活動状況報告

①朝波小学校児童下校時の見守り活動今年度も継続

※夏休み期間中はなし。9月から再開。

② 行事：7/28（火）、7/29（水）納涼祭を実施した様子を報告した。

③外部評価関連報告

A 事業所評価関連

【地域包括ケアを担う活動】

目標：行政やサービス機関との会議、波根地域の活動・イベント等に参加する機会を増やす

→7/18（土）キャンドルナイト（波根）への参加報告を行う

→7/31（金）大田市介護サービス事業者協議会参加報告を行う。

（目的）

大田市の住民がどこでも安心して暮らすことが出来るために、きめ細やかな質の高いサービスが提供できる体制をつくり介護サービスの充実を図る

（内容）

- ・介護サービス事業所のサービスの質向上のための全体研修
- ・人材確保への取り組み
- ・介護保険課に対して大田市広報へ全サービスについての紹介ページの掲載依頼
- ・身寄りのない方、親族が遠方で支援が期待できない方への支援についての協議
- ・施設利用者が入院した際の家族からの苦情対応など

【9.人権・プライバシー】

目標：人権を尊重した支援やプライバシーの配慮が環境整備を含めて意識を持って取り組む

（コンプライアンス順守や身体拘束廃止、虐待防止など基礎知識を備えるための取組）

- ・7/16（木）、7/23（木）「介護現場のコンプライアンスと理入りの重要性」研修
- ・7/29（水）、8/26（水）「ハラスメントのない職場作り」研修
- ・身体拘束・虐待に繋がる不適切なケアの実態についてのアンケート調査実施
- ・虐待を疑われる事案が生じた場合の対応について参加者へ説明を行った

Q：委員会の実施状況やメンバーの構成を教えてください。

A：3カ月に1回の定例会議（構成メンバーは主任を主担当とし、各部署から職員配置）

身体拘束、虐待の事例発生時には臨時の開催（部長や課長も参加）

C 事業所と地域の関わり

目標：地域の行事や活動を通じて事業所との関係を深める。事業所の取り組みも知ってもらえるような情報発信を行い、困りごとなどの相談が増える。

→道路にはみ出した木の枝の対応について

- ・地域からの意見、相談などの状況を説明（社協のよろず相談へ相談した）

※まちセンより

- ・公共の道路であれば大田市の道路管理者で対応可能。
- ・まちセンも情報を持っているので協力できることがあるかもしれないので相談してもらうなど活用してほしい。

※自治会長より

- ・11月の文化祭について

作品に興味を持った方がいれば作成者に事業所に来てもらって教えてもらう事も出来るのではないかな

→団体の縮小や指導者減少の状態はあるが頼んでみてもよいかもしれない。

3. その他

大田市介護保険課より介護の入門研修の案内あり

※資料参照

次回開催日：令和8年11月18日（水）9：30～10：30